

企業活動を通して社会課題を解決し、社会に積極的に貢献していきます



経営管理本部長
西田 裕

東海理化は、1948年の創立以来、「人が手掛けないことこそやる」の創業者精神を大切に、「豊かな社会づくりに貢献」「個性とチャレンジ精神を尊重」「自然・地域と共生する企業」をキーワードとした経営理念に基づき事業を進めてきており、2021年4月には「東海理化イズム」として「先人の言葉」とそれに基づき考えて行動する「考動宣言」を冊子化し、国内外の全従業員に配布しました。

そんな想いをもとに、8月には公益財団法人人権教育啓発推進センターの運営する人権ライブラリーの特設ページにおいて「お客様を愛し、地域社会を愛し、社員・家族を愛し、そして愛される企業に。」という「Myじんけん宣言」を公開しました。

今年1月には多様な背景や個性を持つ従業員の活躍促進を図るため、社長・副社長直轄の「ダイバーシティ推進室」を新設しました。

5月に公表した中期経営計画においては、カーボンニュートラル戦略、多様な人財の活躍推進、新規事業(社会課題解決型ビジネス)の拡大、DX推進などの昨年公表した「SDGs経営」に関わるテーマを絞り込み、会社の将来の発展に向けて取り組んでいます。

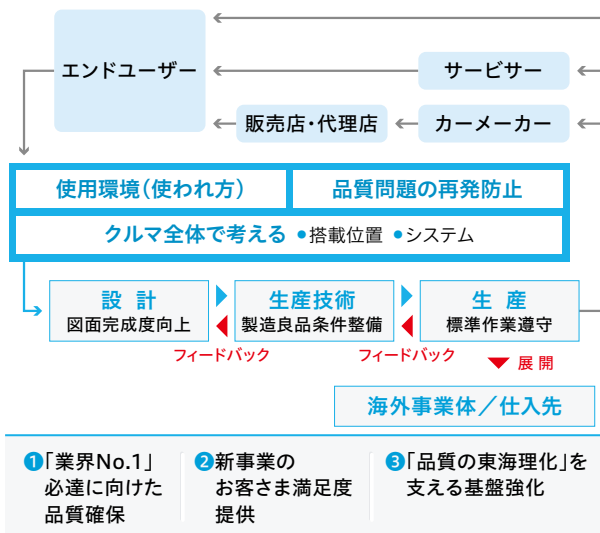
持続可能な社会の実現に向けて「誰一人取り残さない」という気持ちを大切に、従業員一人ひとりの意識と行動を高め、企業活動を通して社会課題を解決し、社会に積極的に貢献していきたいと考えます。

顧客の安全・品質方針

東海理化の商品が、人々の生活、産業・経済活動を支える社会システムの中で欠かすことのできない存在であり続けるよう、「安全・安心・快適な製品づくり」を進めています。また、品質は「お客さまと社会のニーズを満たす度合い」と捉え、お客さまの安全・安心確保はもちろんのこと、お客さまにご満足していただける商品をお届けするため、品質機能方針を定め品質向上活動に取り組んでいます。

東海理化グループの品質機能方針

品質向上活動の考え方



①「業界No.1」必達に向けた品質確保

お客さまの安心・安全を徹底して考えた設計・評価による製品安全確保、不良を流出・発生させないモノづくり品質の確保をより進化させ、「業界No.1」の品質実現に向け取り組んでいます。

②新事業のお客さま満足度提供

お客さまの困り事に常に寄り添ったアフターサービスが提供できる体制の整備と、その実現に向け取り組んでいます。

③「品質の東海理化」を支える基盤強化

失敗を「宝」と捉え、自分たちの仕事の進め方の抜け・漏れに対し改善が行える人財の育成としくみの強化により、品質が維持・向上できる基盤強化に取り組んでいます。

品質風土づくり

過去にお客さまにご迷惑をかけてしまった「品質不具合」と「学び」を後世に伝承し、製品安全を最優先した風土を維持し続けるために誰でも学習できる品質ルームを常設しています。



過去の品質不具合を展示



お客さま目線で製品の不具合を体験できるモック